

◎サイレース錠, ▼サイレース静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】フルニトラゼパム flunitrazepam 【分類】睡眠導入剤・麻酔導入剤 [BZ系・中間型]

【単位】◎1mg・△2mg/錠, ◎2mg/A [1mL]

【常用量】■内服：1回0.5～2mg■注射：全身麻酔の導入：0.02～0.03mg/kg；局所麻酔時の鎮静：0.01～0.03mg/kgとし、必要に応じて初回量の半量ないし同量を追加投与

【用法】■内服：分1眠前■注射：用時注射用水にて2倍以上に希釈調製しできるだけ緩徐に（フルニトラゼパムとして1mgを1分以上かけて）静注

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【保存期CKD患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】ジアゼパムの10倍の効力を有する鎮静剤で、入眠作用が強い。強力な睡眠作用と麻酔・鎮痛増強作用をもつため、全身麻酔の円滑な導入ならびに局所麻酔時の十分な鎮静作用を示し、NLA変法にも有用である。

【主な副作用・毒性】依存性、禁断症状、奇異反応、眠気、ふらつき、肝・腎障害、炭酸ガスナルコーシスなど

【F】80% (14) 50% (1)

【tmax】1～2hr (1)

【代謝】肝代謝 (1) 1-デスメチル体、7-アミノ体、3-ヒドロキシ体に代謝され、活性は未変化体より低い (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率0% (14) 尿中回収率81% [iv, 168hrまで] (1) 【CL】2.27mL/min/kg [iv] (1) CL/F=4.61mL/min/kg [po] (1)

【t1/2】6.8hr (1) β相24hr (1) 29hr (14)

【蛋白結合率】77.6～79.6% (1)

【Vd】3.7L/kg (14) 0.58L/kg [iv] (1) Vd/F=3.62L/kg [po] (1)

【MW】313.28

【透析性】蛋白結合率が高くVdが大きいため透析で除去されにくいと思われる (5) 資料なし (1)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない

【O/W係数】204.2 [1-オクタノール/buffer, pH7.4] (1) 【pKa】2.23 (1)

【主な臨床報告】終末期がん患者の不眠に対して0.8～1.0mgの皮下投与が有効 [n=30] (金石 圭祐, 他: Palliative Care Research 10: 130-4, 2015)

【更新日】20190801

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。